

平成28年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	藤澤 のぞ美
		全体計画						経費区分		-		内線	3613
事務事業名	4249 児童センター運営事業												
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課												
施 策	02020900 子育て環境の充実												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	030206 民生費・児童福祉費・児童センター費											
	事業	030000 児童センター運営事業											
事業目的							事業概要・効果						
留守家庭児童に放課後児童健全育成事業を推進するための児童クラブの運営と、一般児童に対して健康の増進と情操を豊かにするための児童センターの運営。子育て支援事業の実施。							留守家庭児童を中心に放課後児童健全育成事業を推進するとともに一般児童に対しても健全な遊びの場を提供する。 また、午前中等を開放し、未就園児とその保護者の集まりの場として、子育て支援事業を実施する。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
登録児童と一般児童に対して、健全な遊びの場を提供した。 未就園児とその保護者に遊びの広場を提供した。	登録児童と一般児童に対して、健全な遊びの場を提供する。 未就園児とその保護者に遊びの広場を提供する。
平成29年度 予定	平成30年度 予定
登録児童と一般児童に対して、健全な遊びの場を提供する。 未就園児とその保護者に遊びの広場を提供する。	登録児童と一般児童に対して、健全な遊びの場を提供する。 未就園児とその保護者に遊びの広場を提供する。
平成31年度 予定	平成32年度 予定
登録児童と一般児童に対して、健全な遊びの場を提供する。 未就園児とその保護者に遊びの広場を提供する。	登録児童と一般児童に対して、健全な遊びの場を提供する。 未就園児とその保護者に遊びの広場を提供する。

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		26,516	35,419
特定 財源	国庫支出金	10,115	5,893
	都道府県支出金	9,947	5,893
	地方債	0	0
	その他	524	4,205
一般財源		5,930	19,428
人員数 (人)	正規職員	0.2	0.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.3	0.3
人員 コスト	正規職員	1,441.6	1,441.6
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	309.0	309.0
	計	1,750.6	1,750.6
市民一人当たりの経費		0.5	0.7
総額		28,266.6	37,169.6

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	80	講師謝礼
11節 需用費	1,528	消耗品費、食料費、医薬材料費
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	42	児童館連絡協議会負担金 会議等出席負担金
その他	24,866	賃金 ほか

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	100	講師謝礼
11節 需用費	1,266	消耗品費、食料費、医薬材料費
13節 委託費	50	督促状印刷
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	66	児童館連絡協議会負担金 会議等出席負担金
その他	33,937	賃金 ほか

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	児童の健康増進と情操を豊かにするため、児童に健全な遊びを積極的に提供することにより、健全育成と福祉向上を図る。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	留守家庭児童に放課後児童健全育成を推進するとともに、一般児童に対しても健全な遊びの場を提供する。未就園児とその保護者に午前中を開放し、集まりの場として子育て支援事業を実施する。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや向上
評価コメント	地域との交流活動の実施。 放課後児童支援員研修及び児童厚生員研修、館長研修の実施。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
順調に運営できた

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

ニーズが高まる中継続的な運営が必要

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

H27年度から対象年齢を拡大して放課後児童健全育成事業を実施してきているが、今後も継続した事業運営が必要である。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--